

# 宮城ゼミナール

## 和歌山 IR 班

僕たちのグループは和歌山県のマリーナシティのお土産開発について取り組んでいます。お土産産業は観光業における大きな収入源であり、我々は日本へのカジノ誘致に合わせて各地を代表するお土産を作ることにより、和歌山県のお土産産業の発展や、外国人観光客を中心とした利益の上昇を目指しています。そのため、普段は学内外を問わずアンケート等で調査を行い、人々が求める需要から県を代表するお土産のイメージを研究しています。



私たちのグループは、大阪府堺市の地域活性化を目標に活動しています。観光客や地域住民が、堺市に訪れたいと思えるスポットとして、農業公園であるハーベストの丘に注目しました。写真はハーベストの丘を訪問した様子です。副支配人にインタビュー後、ハーベストの丘全体を偵察しました。現状や課題を踏まえた上で、今後の活動は、ハーベストの丘の集客を増やす為、季節に合ったイベントの企画を考え、提案を行う予定です。

## 堺地域活性化班

## 商品開発班 (U)

この班では、京都でとても有名なお土産である『生八つ橋』などをメインに生産している株式会社美十さんの協力を元に、京都の新しいお土産の商品の開発を行っている班です。学外での活動としては、市場調査や学内・学外アンケート、企業見学などにより今のお土産業の市場を分析・研究し、これらから需要の出る新商品開発の開発を目指しています。



## 加太観光研究班

私たちの班では、和歌山県和歌山市にある加太について調べています。私たちの班の最終目標は加太の観光マップを作成することで、そのために加太の観光地や特産品について調べたり、現地に訪れてみないとわからないこともたくさんあるので実際に足を運んで加太に行き、直接加太の観光地を訪れたりして活動しています。授業で実際に現地に訪れて調べることができるのはフィールドワークゼミナールならではの貴重な経験ができます。



## 最近の活動内容



我々宮城ゼミナールはこの冬から、日本旅行業協会（JATA）の主催する海外旅行企画の募集に向けて、いくつかのグループにわかれてアイデアを出し合っています。経験も知識も少ないため、そういった企画に関する知識が豊富な方をお呼びしてお話をうかがいながら、自分達なりに一生懸命考えた、大学生らしい自由な発想の企画作りを目指しています。

## 先生からのコメント

各班それぞれが、自主的に希望した観光関連企業（テーマパーク、観光土産業など）に向けて魅力向上の方法やマーケティング面からの提案を行なうために各社の協力を得てアンケートを取り、ヒアリングを通じて各社からの問題点を探し出しました。今後、ゼミ生らが課題解決方法の企画・提案を通じてひとつのプロジェクトを推進していくプロデュース力を身につけていけると確信しています。

